

「安芸太田町地域公共交通計画」に関するパブリックコメントにおける意見への対応について

令和5年3月31日

安芸太田町地域公共交通会議

意見の件数：7件（1名分）

No.	パブリックコメント意見	回答	関連するページ
1	<p>【ダイジェスト版の作成について】</p> <p>今回のパブリックコメント題材はとても重要なテーマではあるが、情報量が多く、もう少し論点を整理・絞りこんだダイジェスト版の体裁なら理解しやすい。</p>	<p>概要版を作成いたします。</p>	<p>概要版</p>
2	<p>【通学バスへの混乗について】</p> <p>少子化時代で児童生徒の安全確保対策の一つとして、通学バスへ沿線児童生徒の混乗のあり方について、関係課を交え早急に具体策を講ずるべきと考える。本町が先頭になって課題解決を目指し、文科省に具申する位のパワーを具備してもらいたい。</p>	<p>ご意見を踏まえ、関係課と協議してまいります。</p>	<p>38</p>
3	<p>【あなたくと定額タクシーについて】</p> <p>あなたくの定額タクシー移行は必須課題。一つは「公平性の確保」。あなたく運行区域も定額タクシー利用が可能。二つには、投資効果、経費負担との関連。令和6年度完全移行を目指すがあるが、是非その方向で展開されたい。地元業者と町は、町民のため議論を深める必要がある。定額タクシー完全移行となると、事業者の受入れ体制確立が不可欠であるから。</p>	<p>あなたくの定額タクシーへの移行を含む、三方良しの持続可能な交通体系の構築に向けて議論を深めてまいります。</p>	<p>36・37 39・40</p>
4	<p>【域外交通のあり方について】</p> <p>広島市が先行している上下分離方式導入方針を踏まえ、町独自路線の方向で前進してほしい。在来線運行は地元事業者対応で進めてほしい。</p>	<p>広域路線の見直しについては、引き続き関係市、交通事業者と協議を行い、町民及び来訪者の移動手段の確保に努めます。在来線の運行については、ご意見を踏まえ持続可能なものとなるよう協議して参ります。</p>	<p>37・41 42</p>

5	<p>【バス停施設のあり方について】</p> <p>定額タクシーの導入などにより公共交通で乗り継ぎの機会は軽減されつつあるが、バス停施設の整備は重要であり、病院バス待合室整備は大変良かった。加計中央バス停のトイレ整備もよろしくお願ひしたい。</p> <p>フルインター化を目指す加計インターバス停のトイレの整備をお願ひする。</p>	<p>ご意見を踏まえ、検討してまいります。</p>	39
6	<p>【情報発信について】</p> <p>広報等で丁寧な情報発信がされているのは好ましい。高齢者の運転免許返上へとリンクする取り組みが大切。又、公共交通連携会議が形式的な内容にならぬよう留意されたい。本当に利用者の声が届く委員の選任など考えて貰ひたい。利用者の声が届くような仕掛けも考えて貰ひたい。例えば、アンケート、地域に出向いての話し合いの場設定など。</p>	<p>引き続き公共交通を考える会などを通じて、町民と意見交換を行い、利用者の声を集め、運行改善を検討します。</p>	40
7	<p>【その他意見】</p> <p>町民にとって移動手段の確保は、この地で生きる、生涯を終えるまでの間における、命綱でもあります。当課においてもその趣旨を十分踏まえつつ様々な取組みを展開されていることに敬意を表します。持続可能なまちづくりを基底に据えつつ、且つ移動手段確保の重要性を任氏され、利便性が高く、しかも経費負担軽減という課題達成にむけて、合併以来、あなたく、廃止代替バス、通学バス、域外交通確保へと尽力され、一定の成果を挙げられていることは他市町関係者も評価の高いところではあります。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。引き続き尽力いたします。</p>	